

小規模事業者 景気動向調査報告書

(令和6年7～9月期)

延岡商工会議所／中小企業相談所

延岡市幸町3丁目101 延岡駅西口街区ビル3階

TEL 0982(33)6666

FAX 0982(33)6682

I. 実施概要

1. 調査対象事業所数	125事業所
2. 回答事業所数	59事業所
3. 回答率	47.2%
4. 業種別内訳	
製造業	11事業所
建設業	5事業所
卸売業	2事業所
小売業	24事業所
サービス業	17事業所
合計	59事業所

5. 実施時期

令和6年 10月上旬～11月上旬

6. 調査対象期間

令和6年 7月から9月（第2四半期）

7. 調査内容

調査対象期間である第1四半期について前年同期比、前期比、来期見通しの売上（受注）状況、採算（経常利益）、資金繰り、材料仕入価格、雇用（労働力）状況、設備投資計画、業況の各項目についての状況。

（D I 値の集計）

※ D I 値（景況判断指数）について

D I 値は、売上、採算、資金繰り、仕入価格、雇用状況、設備投資、業況の各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気、弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

$D I = (\text{増加・好転などの回答割合}) - (\text{減少・悪化などの回答割合})$

売上：（増加）－（減少）

採算：（好転）－（悪化）

資金繰り：（好転）－（悪化）

仕入価格：（低下）－（上昇）

従業員：（不足）－（過剰）

設備投資：（拡大）－（縮小）

業況：（好転）－（悪化）

8. 調査方法

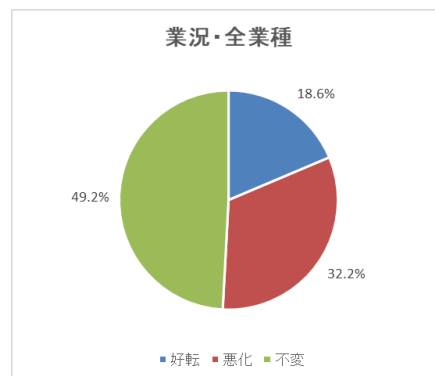
調査対象事業所に対して、調査票を郵送しファクシミリ及び電子メール等で回収、当所にて集計、分析を行う。

II. 概況

1. 全業種の業況

全業種の業況判断として、前年同期比（令和5年7月～9月）のD I値は▲13.6ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は18.6%、悪化したと回答した事業所が32.2%、変わらないと回答した事業所は49.2%だった。



令和5年7～9月の前年同期比について、暑さが長引いたことや台風などの影響で売上が下がったという声が多くあった。

仕入価格の上昇による「採算性が悪化した」と回答した事業者が多く、前回の調査に引き続き、価格転嫁について苦戦する事業者が依然として多い。

	R5. 7～9 前年同期比	R6. 4～6 前期比	R6. 10～12 見通し
全業種	▲13.6	▲20.3	▲8.5
製造業	▲18.2	▲27.3	▲18.2
建設業	▲20.0	0.0	40.0
卸売業	▲50.0	▲50.0	▲50.0
小売業	▲12.5	▲29.2	▲12.5
サービス業	▲5.9	▲5.9	▲5.9

来期見通し（令和6年10～12月）のD I値については、▲8.5ポイント。

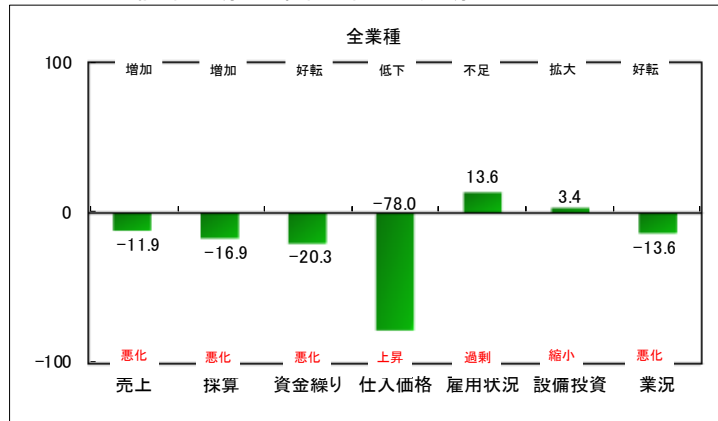
建設業については好転の見込み。

各業種で、売上の増加を見込む回答はあるものの、景気回復が見込めないことを懸念する声が多かった。マイナス意見として、仕入価格の高騰、人手不足、資金繰りが厳しい等が挙がっていた。少数の回答ではあるが、新事業展開や既存製品の新規顧客開拓が見込めるといった声もあった。

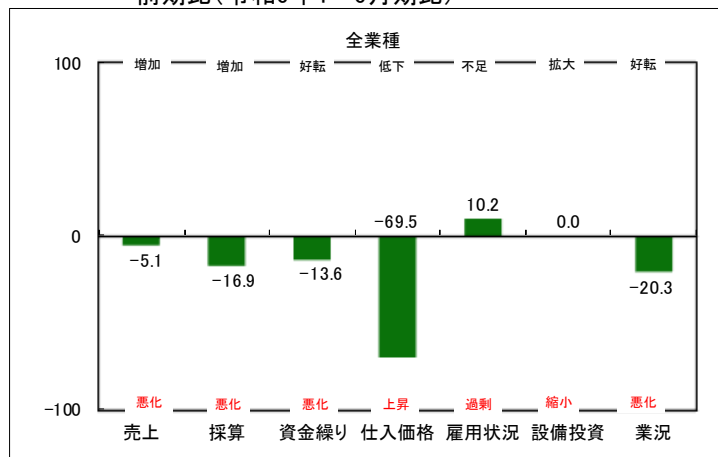
市内景気動向

全業種

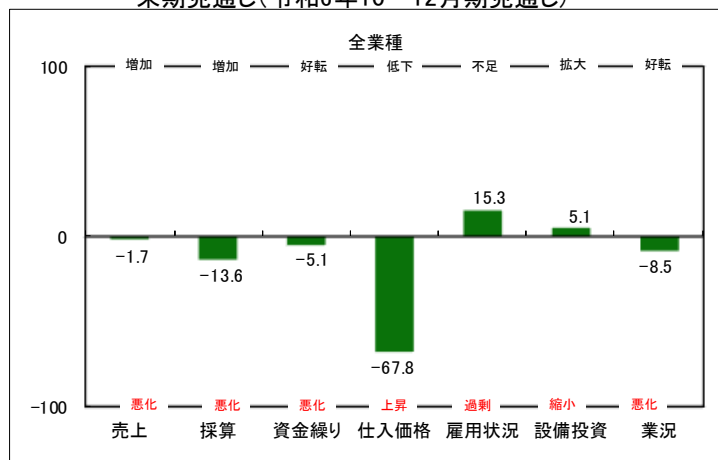
前年同期比(令和5年7~9月期比)



前期比(令和6年4~6月期比)



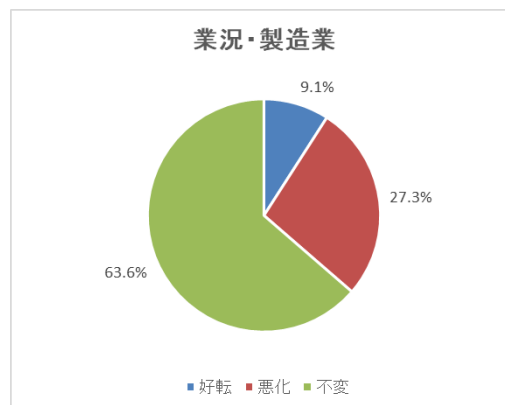
来期見通し(令和6年10~12月期見通し)



2. 業種別の概要

- ① 製造業の業況判断は、
前年同期比のD I値が▲18.2ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は、9.1%、
悪化したと回答した事業所が27.3%、
変わらないと回答した事業所が63.6%だった。



来期見通しD I値については▲18.2ポイントで、
悪化の見通しとなっている。

○主な意見

【菓子・パン小売業】

- ・「原材料の高騰続きで経費圧迫している」

【鉄鋼業】

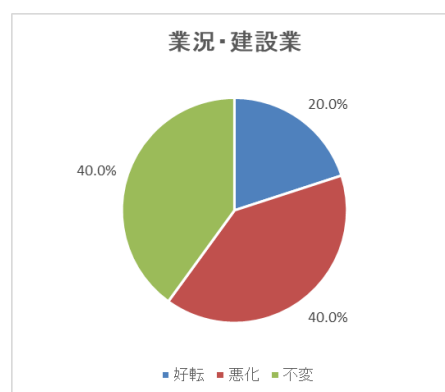
- ・「前年同期からすると鋼材価格大幅な値上げはなく高値安定のまま推移しているがものによって輸送費の問題で少し値上がり傾向にある。」

【プラスチック製品製造業】

- ・「半導体関連の受注の減少、低迷の為」

- ② 建設業の業況判断は、
前年同期比のD I値が▲20.0ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は20.0%、
悪化したと回答した事業所は40.0%、
変わらないと回答した事業所は40.0%だった。



来期見通しのD I値は、40.0ポイントで、好転の見通しとなっている。

○主な意見

【土木建築サービス業】

- ・「法人化後も順調に受注できている。材料費は増加。」

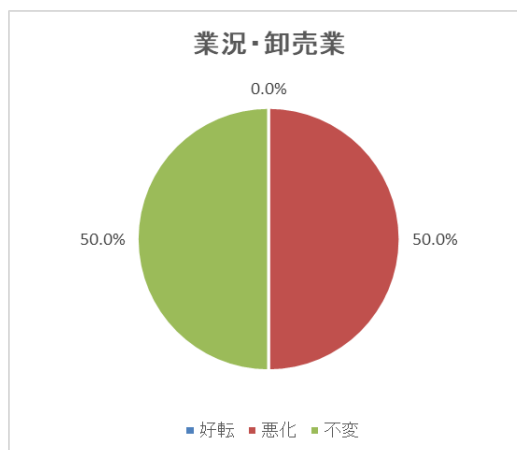
【内装仕上工事業】

- ・「建設業関連の動きが鈍く、売上に結び付きにくい。工場（企業）の設備投資も今一低迷しており、新規の案件が出ない。タダシ、見積もり照会は増加傾向にあり、希望は見えつつある。」

③ 卸売業の業況判断は、
前年同期比のD I 値が▲50.0ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は0.0%、
悪化したと回答した事業所が50.0%、
変わらないと回答した事業所50.0%だった。

来期の見通しD I 値は、▲50.0ポイントで、
悪化の見通しとなっている。



○主な意見

【建材卸業】

・「前年に比べ売上減少。来期の受注見通しは不透明」

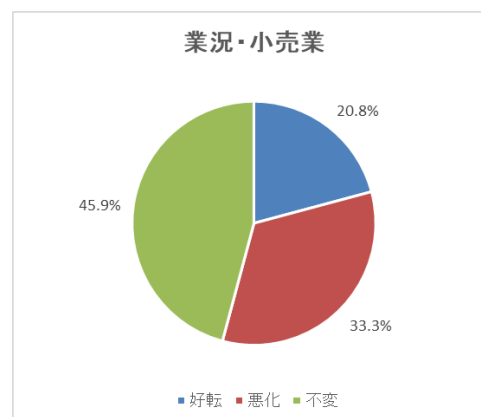
【文房具・事務用品業】

・「店売上減少、通販利用増加」

④ 小売業の業況判断は、
前年同期比のD I 値が▲12.5ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は20.8%、
悪化したと回答した事業所は33.3%、
変わらないと回答した事業所は45.9%だった。

来期の見通しD I 値は、▲12.5ポイントで、
悪化の見通しとなっている。



○主な意見

【自動車小売業】

・「円安の影響及び物価上昇の仕入れ価格が上がり売上減」

【寝具小売業】

・「昨年に比べて、猛暑が続き、肌布団、タオルケットなどの売上が不調で苦戦した。」

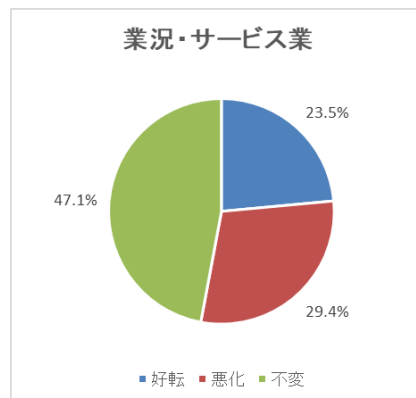
【飲食業】

・「相変わらずの原材料高騰、高熱費高騰、人件費高騰、値段、お客様が商品に対して値上げを嫌がってるのがわかるのであげるのも怖い。贅沢してないが手元に残らない。朝から夜まで働いてる」

⑤ サービス業の業況判断は、
前年同期比のD I 値が▲5.9ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は23.5%、
悪化したと回答した事業所は29.4%、
変わらないと回答した事業所は47.1%だった。

来期見通しD I 値は、▲5.9ポイントで、
悪化の見通しとなっている。



○主な意見

【衣服リフォーム業】

- ・「職人が少なくなっている(年齢的に)。売上を伸ばす為に営業に回って仕事を貰ってもそれを仕上げていく職人が不足している為身動き取れず。」

【リハビリサロン業】

- ・「リピーターを中心に安定している。新事業の講座をスタートして新規客も増えつつある」

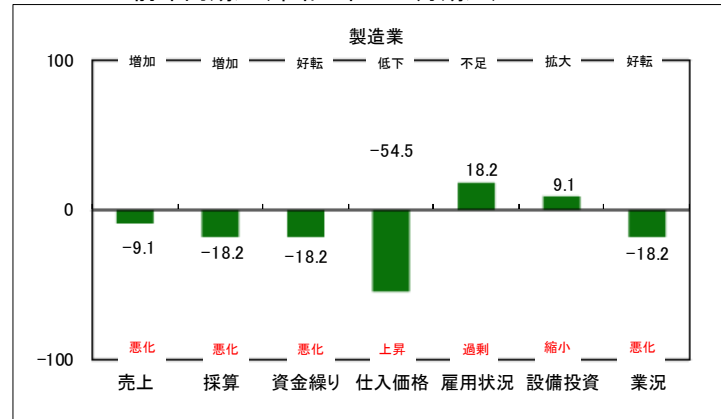
【飲食サービス業】

- ・「資金繰りの悪化、コロナ回復後も客足が鈍い。運転資金が減少してきている。」

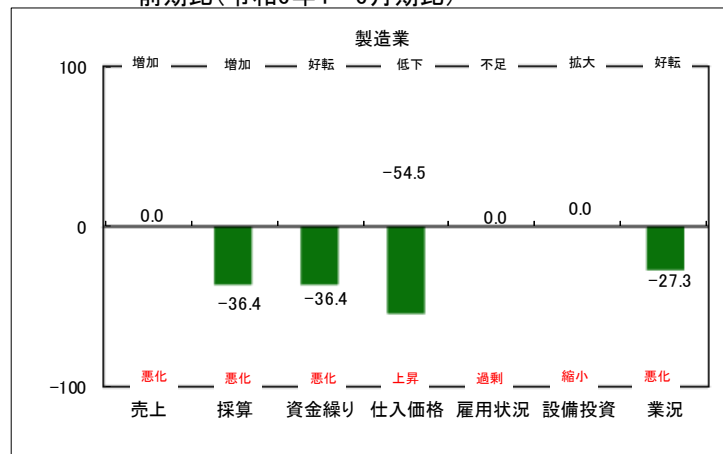
業種別景気動向

製造業

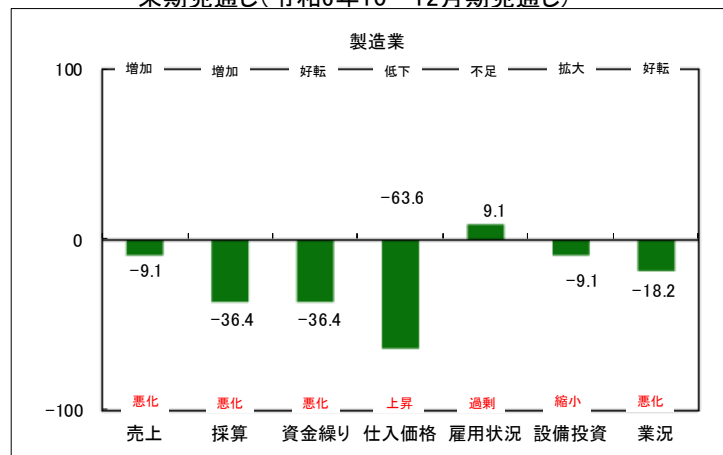
前年同期比(令和5年7~9月期比)



前期比(令和6年4~6月期比)



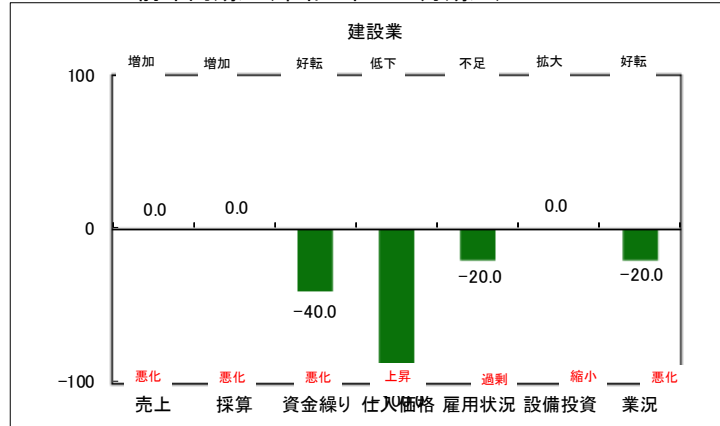
来期見通し(令和6年10~12月期見通し)



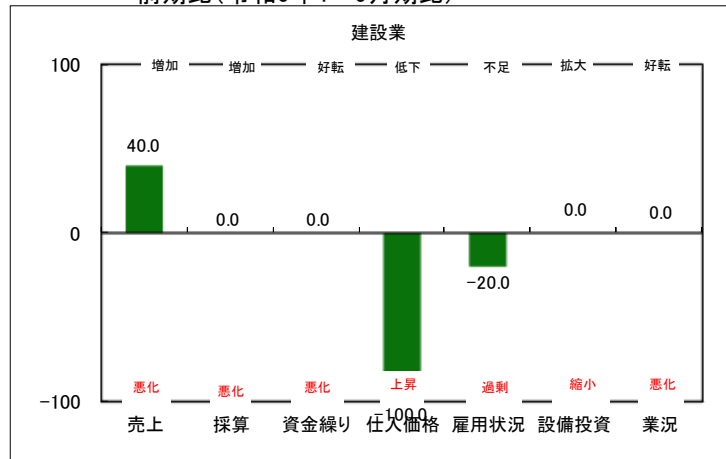
業種別景気動向

建設業

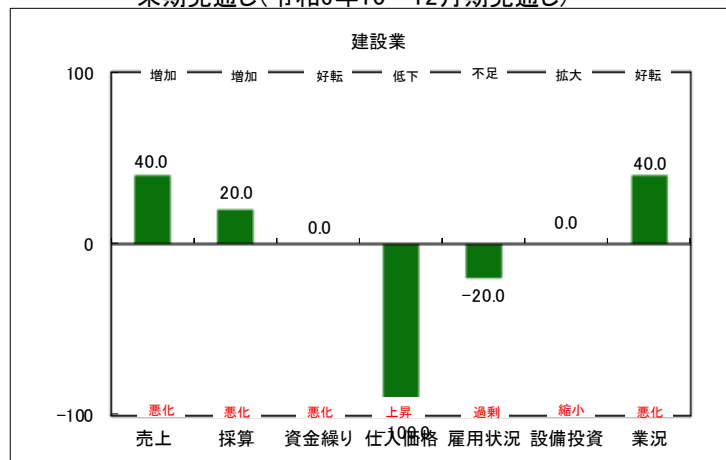
前年同期比(令和5年7~9月期比)



前期比(令和6年4~6月期比)



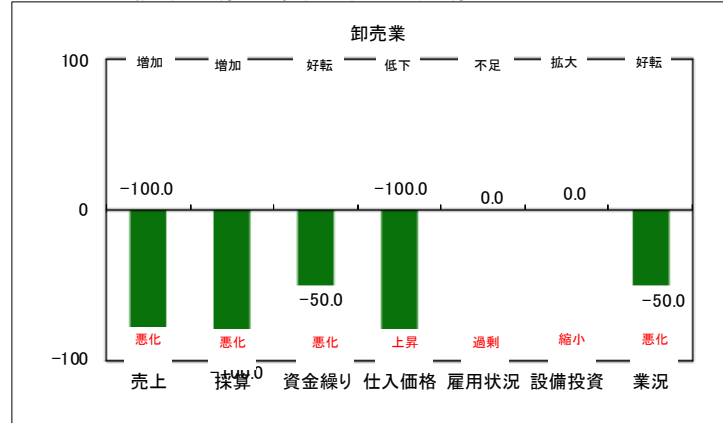
来期見通し(令和6年10~12月期見通し)



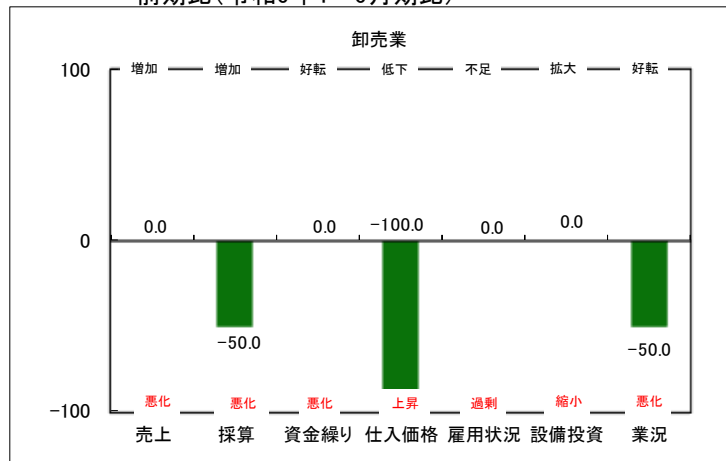
業種別景気動向

卸売業

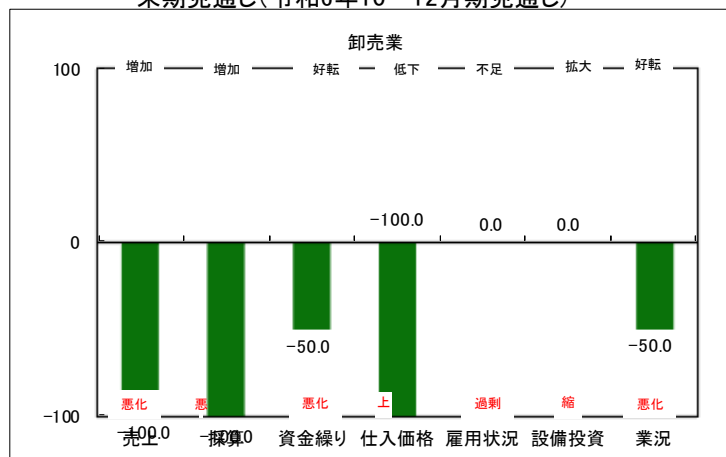
前年同期比(令和5年7~9月期比)



前期比(令和6年4~6月期比)



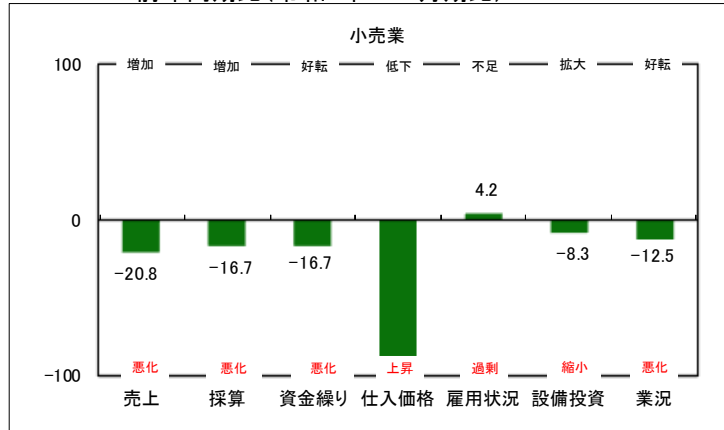
来期見通し(令和6年10~12月期見通し)



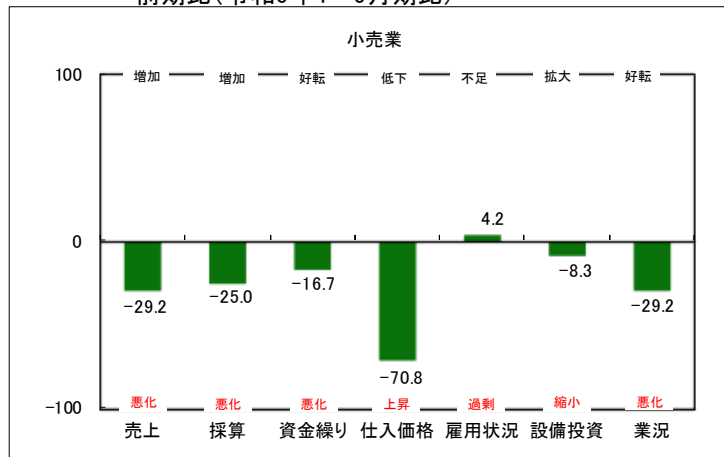
業種別景気動向

小売業

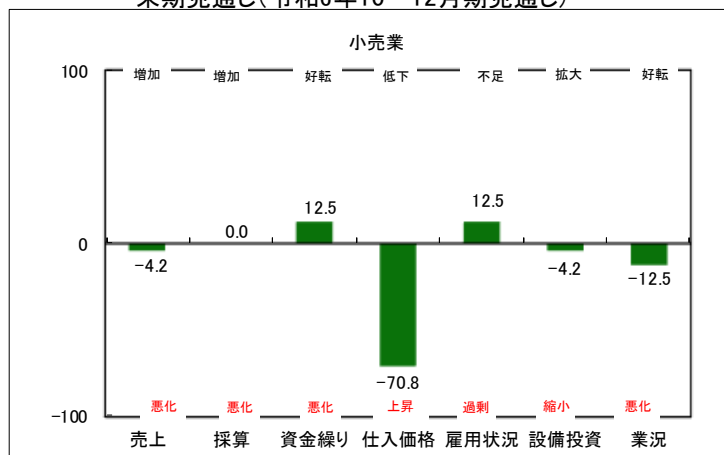
前年同期比(令和5年7~9月期比)



前期比(令和6年4~6月期比)



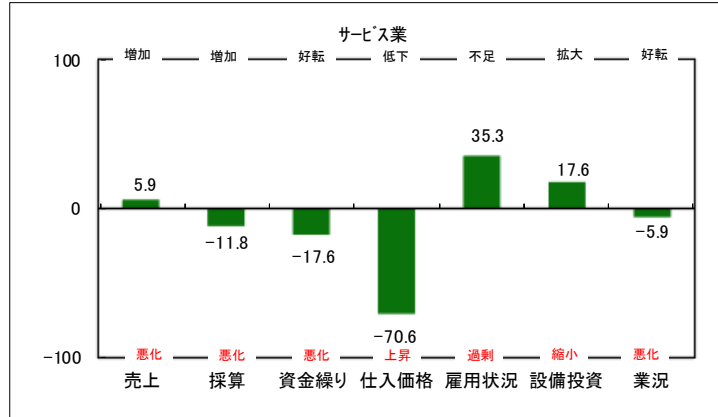
来期見通し(令和6年10~12月期見通し)



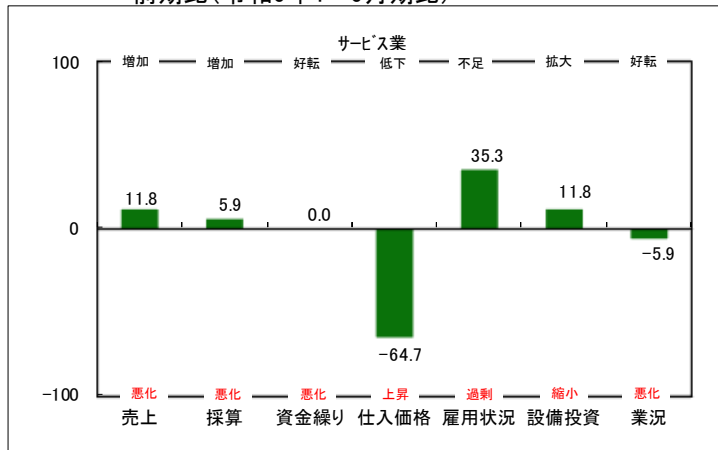
業種別景気動向

サービス業

前年同期比(令和5年7~9月期比)



前期比(令和6年4~6月期比)



来期見通し(令和6年10~12月期見通し)

